

平成 23 年度 第 5 回理事会抄録

日時：平成 23 年 9 月 17 日（土）13：08～16：12

場所：（社）日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：中村（会長）、山根、清水（副会長）、荻原（事務局長）、古川、長尾、岩崎（監事）、香山、小林、陣内、谷、土井、山本（常務理事）、宇田、大丸、苅山、北山、坂井、高島、東、藤井、三澤、森（理事）、高木（士会連絡協議会長）

審議事項

1. 平成 23 年度体制について（中村会長）1) 協会組織図について 今般の組織改編に伴い、組織図を作成し直した。2) 士会組織担当理事の指名について 森理事と宇田理事に士会組織を担当していただく。 承認
2. 機関誌のあり方について 1) 機関誌「作業療法」の学術誌「作業療法」への変更について（小林学術部長）学術誌として明確に位置づけ、協会誌と差別化を図る。学術向上に資する論文を中心に掲載し、年 6 回発行。表紙デザイン等は変更せず、平成 24 年 2 月発行号より移行する。 承認
- 2) 機関誌「日本作業療法士協会雑誌」（仮称）の創刊について（荻原事務局長）機関誌「作業療法」が学術的な内容に特化した学術誌へ移行するのに伴い、機関誌が必要となる。機関誌としての内容と従来の協会ニュースの内容を抱き合わせた媒体とする。誌名を「日本作業療法士協会誌」とし、平成 24 年 4 月に創刊する。年 12 回発行。 承認
3. 「疾患別ガイドライン」新規作成について（小林学術部長）作業療法の役割と成果を疾患別に提示していくことが必要と思われる。疾患別（脳卒中、脊髄損傷、統合失調症等）ガイドライン作成に向けて検討作業を開始する。 承認
4. 平成 24 年度課題研究助成制度推薦課題について（苅山学術部副部長）研究課題 について 4 課題（計 328 万円、2 年間）、研究課題 について 1 課題（60 万円、単年度）を、平成 24 年度課題研究助成制度課題とする。 承認
5. 都道府県担当者による広報全体会議の開催について（谷広報部長）合同役職者研修会で都道府県連絡協議会より要望のあった広報全体会議を平成 24 年 2 月下旬から 3 月上旬に行う。 承認
6. WFOT 定款（案）について（富岡 WFOT 代表）実務処理上の決定事項の増大、任意団体で

あるために様々な支障があり、法人化への検討がされてきた。2009年7月10日役員会承認、修正を加えて2010年9月10日に定款案が提示された。承認

7. 代議員選挙のあり方について(荻原事務局長)1)代議員選挙運営委員の委嘱について代議員選挙運営委員の任期を当該選挙期間中とする。但し不測の事態が起きた場合は新たに運営委員を選出し、委嘱することができる。承認

2)代議員選挙の手引き(第3次案)について各士会からの意見も踏まえ、第3次案を作成した。承認

8. 平成24年度収入予測について(香山事務局次長)平成24年度活動計画作成の基礎資料とするため、収入予測を算出した。会費収入4億6,583万7,000円と予測。支出は事業費と法人運営費の割合を6対4としている。承認

9. 会員の入退会について(荻原事務局長)1)会員の死亡退会について死亡退会2名。2)強制退会者の再度入会について再度入会希望者4名(未納会費は清算済み)。

承認

10. 災害対策本部関連(香山災害対策担当理事)1)東日本大震災支援関連会議報告 3県士会の対応状況の確認と今後の協会対応方針を決定するため会議を開催(7/31)。支援金は必要時に県士会から請求、速やかに送金。バランス配分より必要性を重視した送金とする。支援金に不足が生じ、3県のニーズがある場合は二次募集を行う。9月末まで従来どおり平日ボランティア募集(宮城県石巻市)。9月以降作業を中心としたサロンを運営し、今後も3県のニーズに沿ってボランティアを募集していく。承認

2)会員の会費免除について第5回会費免除申請20名、第2回原発避難免除申請7名。

承認

報告事項

1. 要望書関連 1)平成24年度診療報酬改定要望書(3団体合同、当協会単独)(山本制度対策部長、香山理事)8月19日日本理学療法士協会に取りまとめて厚生労働省へ提出。9月13日当協会単独要望書を提出。2)平成24年度介護報酬改定要望書(土井理事)3団体合同で提出。3)全国自治体病院協議会に提出した修正依頼に対する回答(山本制度対策部長)全国自治体病院協議会から厚生労働省へ提出した要望書の記載内容の修正依頼に対し、修正不可能との回答があった。厚生労働省には訪問した際に、実態について口頭で説明した。

2. 広報ポスターについて(谷広報部長)広報ポスターを作成し、9月上旬に配布した。

3. 第4回国際シンポジウムについて（大丸国際部副部長）第46回学会時の国際シンポジウムに3名をシンポジストとして招聘したい。テーマは「災害と復興支援」。
 4. 賛助会員「NV サンアート社」から「日本ヴォーグ社」への移行について（荻原事務局長）会社の統合（グループ化）により名称を変更する。
 5. 映画「人生、ここにあり！」パンフレットへの対応について（香山事務局次長）映画パンフレットの作業療法に関わる記載で当協会として気になる表現について、執筆者の大熊一夫氏に対して電話をした。また、当協会の取組みに関する資料と手紙を送付した。
 6. 災害対策本部関連（香山災害対策担当理事）1）福島県のJDD ネット受託事業へのボランティア派遣について 派遣するボランティアの数が不足している。
 7. 第9回協会・都道府県士会合同役職者研修会アンケート集計結果について 文書報告
 8. 渉外活動報告 文書報告
 9. その他 中村会長： リハビリテーション関連10団体での避難所の支援は収束。常設の事務局を日本理学療法士協会内に置き、今後も継続して活動する。マニュアルづくりを進める。チーム医療に関する要望書を提出することになっている。年内と年度末までに2回ほど勉強会等を開催予定。
- 山根副会長：2014年世界大会はアジアで初めての開催。同年の国内学会を兼ねる。日本語の発表が可能。会費を、発展途上国からの参加を考慮し通常国際学会参加費の約半額の4万円とするが、約1億円の資金調達が必要となる。寄付口座をゆうちょ銀行に開設した。